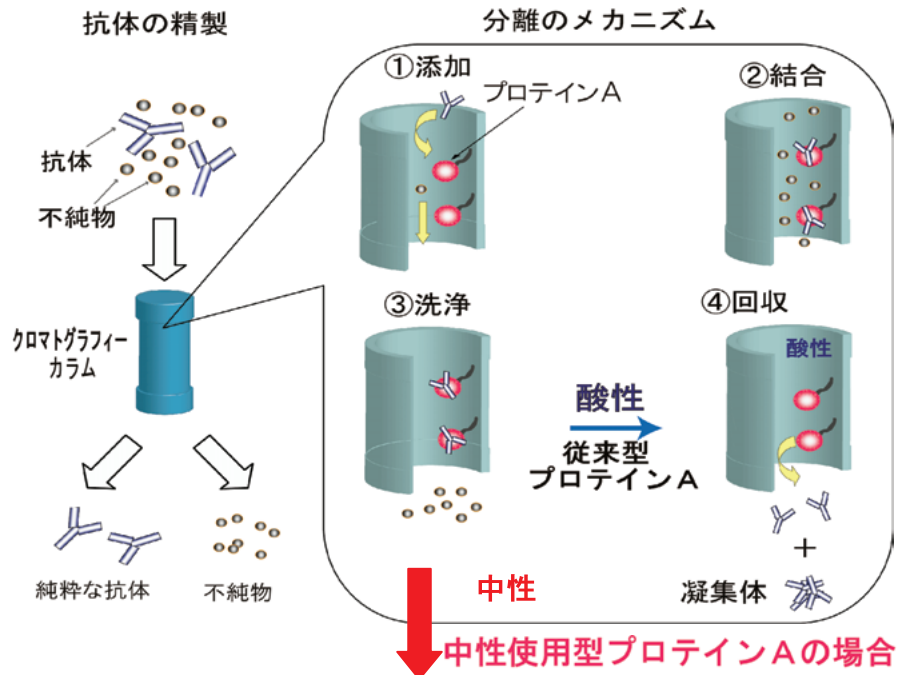


# ORIC NEWS

# 翔飛 ひしろう

## 入居企業紹介

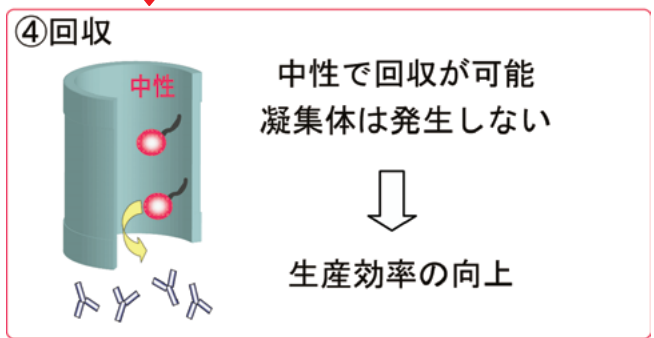
### 抗体医薬品 精製用 プロテインA



### 中性使用型プロテインAによる抗体精製効率の向上



ノマディック  
バイオサイエンス株式会社



詳細は7ページをご覧ください

## — 本号の主な内容 —

- ..... 巻頭言
- ..... 研修・交流会活動
- ..... 入居企業の活動・トピックス
- ..... 入居企業紹介
- ..... イベント案内

## 「羽ばたけ入居企業」

岡山県工業技術センター 所長 横溝 精一



岡山リサーチパークインキュベーションセンター（ORIC）は新技術や新製品の開発により新事業開拓にチャレンジする企業や創業者の支援を通じて産業振興を目的に、平成15年4月に設置されて以来、多くの卒業企業を送り出して7年目に入りました。また、岡山県工業技術センターも産業振興のため、地域に開かれた公設試験研究機関として業務の3本柱 1) 技術相談・指導、2) 試験・研究等の受託、3) 研究開発を掲げ、地域企業への技術支援に取り組んでいます。

当所には高額な設備機器も設置されておりますが、ORICに入居して3年以内は設備使用料の1/2減免や、随時、技術相談を受け付けてサポートしています。また、一部の入居企業とは共同研究を行い、新技術・新製品の開発を行っています。当センターは岡山リサーチパークの一員としてORIC入居企業の成長をサポートして参りましたが、その象徴的なこととして、昨年「産学官連携功労者表彰 経済産業大臣賞」をORIC、岡山県産業振興財団の3者で受賞しました。正に岡山リサーチパークの一体的支援が評価されました。

しかし、現在、岡山県産業界も世界同時不況という大きな波に見舞われ、まだ抜け出せないでいます。今までも不況は幾度となくありましたが、その度に技

術開発、対応施策などで乗り越えて来ました。その礎には国内の産学官の科学技術による下支えがありました。しかし、この度は状況が少し異なっています。従来は米国や欧州の企業がライバルでありましたが、ここでは韓国、台湾に加え、BRICSを始めとする発展途上国が、その安い労働力や豊富な資源により、日本に追い付くに至った点である。日本が得意とする資源を輸入し、高品質な製品を輸出するビジネスモデルのお株を奪われた感があります。だが悲観することもないのかもしれませんが。このような発展途上国の台頭で世界経済が豊かになり、市場も発展し、新たな課題と市場ニーズを生み出すでしょう。問題はこの変化に独自性のある技術を軸に、どう新しい技術、製品を提案していくか、しかもいかに迅速、効果的に対応していくかが重要なこととなると思われます。その一翼を担うのがORICに入居されている企業です。このようなことから、益々、ORICが果たす役割は重要なものになって来ます。

当所職員一同は一丸となって、これからも岡山県における中核技術支援拠点として質の高いサービスを提供し、産業の振興と発展に努めて参りますので、皆様方のより一層のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

## ■ 平成21年7月度ORIC交流会及びセミナー

### ● 入居企業紹介

「歴史的建造物を活かせ」～ベンチャー企業の指定管理者制度への挑戦～

(株) 内外総合通信社

同社の本業はテレビ番組の解説、エンタメ情報、新聞小説などを地方新聞社などに配信することですが、今回は津山市の指定管理者の公募に応募し、同社のプランを元に8月の開館を目指している「中島病院旧本館（後日、城西浪漫館と正式名称が決定）」での同社の取組みについて、延原代表取締役より説明がありました。同建物はテレビ小説「あぐり」などのロケ地としても有名な大正ロマンの雰囲気が漂う建物です。館内にカフェを作り、障害者の就業支援を予定しています。また、津山藩主は徳川将軍家に繋がる名門で洋学の発展にも寄与しました。そこで、藩主の絵画や書を中心に展示を予定していますし、藩主に因む刀剣の展示もしたいと思っています。津山市も同建物を国の登録文化財に申請する方針です。有効求人倍率が極端に落ち込む津山市で同社が雇用の場を提供することになるので、指定管理者としての採算は厳しいが延原氏は「形を変えたふるさと納税」と考えていると説明がありました。



### ● ゲスト機関紹介

「ITコーディネーター制度と岡山での活動」

NPO法人 ITC岡山



同法人の久保田理事長より、経済産業省が推進するITコーディネーター制度と県内での活動について説明がありました。ITコーディネーターはITコーディネーター協会が認定する資格で、有資格者は首都圏に集中し県内には38名しかいないそうです。ITユーザーとITベンダーの双方の立場を理解し、経営者の立場から「真に経営に役立つIT投資」をサポートできる人材が不可欠になっていますが、ITコーディネーターは経営とITの両面に精通し、企業経営に最適なIT投資を支援・推進することができるプロフェッショナルです。ある海外機関が出した国別

競争力では日本の順位は低下傾向にあります。国家レベルの対応策としては“e ジャパン”構想がありますが、企業の競争力のアップには戦略的IT投資が重要な経営戦略と位置づけられています。特に中小企業にはIT活用の効果は高いものがあります。経営改革にはITだけではダメ、ITなしでもダメです。ITC岡山では経済産業省推進事業である「IT経営応援隊」として活動していますので、活用を検討下さいとの説明もありました。

### ● ORICセミナー

「公的研究開発事業(補助金等)提案のポイント」

(財)岡山県産業振興財団

産業振興財団経営支援部次長（前技術支援部）本位田和昭氏から、主として公的補助金申請に関しての事前勉強事項と申請書作成の実際について分かりやすくご説明いただきました。いくつかのキーワードは以下のようなものでありました。①申請に際しては設定補助金の趣旨に沿ったものとする。②申請時点の開発の位置づけ、社会性（売れて儲かるか）、新規性を素人にも分かるように表現する。③関係省庁、産業振興財団などの担当者や人脈を作り普段に「補助金情報を前倒しで収集する」（アクションを早く起こすためにも）。④写真・イラストなどを利用してビジュアルに記載し、必ず作成書類を担当者に見てもらおう。⑤種々の数値は出来るだけ根拠が明白な具体的数値であること。⑥最後に審査員の気持ちになって再度見直してみる。以上のようなものでした。補助金の申請は起業前後にとっては非常に重要であろうと思います。早い仕掛けと、産業振興財団技術支援部やORIC・IMとの密な情報交換を通して、出来るだけ多くの補助金獲得と健全なテイクオフが出来る様支援をして参ります。



### ●入居企業紹介

#### 「子供写真館むけ自動SD作成機を目指して」 (株) スイフトスタッフ

社長の星川氏より、会社案内も含めた総合的説明がありました。本業はシステムの設計開発・保守であり、松下電工様、日本ヒューレットパカード様など有力且つ多数の顧客を持っておられるとの事でした。システムの開発実績案件数も120件を超え、今後の開発レベル向上への益々のチャレンジが期待されます。最近では「システム組込型CD、DVD-R自動作成システムと自動作成機」を開発され次の発展への足がかりとなりつつあります。ORICに於いては、この様な独自のシステム開発力を活かして、新しい「子供写真館向け自動SD作成機」の開発が行われております。早期のニュービジネス立ち上がりを祈念いたしたいところです。



### ●ゲスト機関紹介

#### 「岡山大学の産学官連携について」 岡山大学産学官融合センター

副センター長の東英男先生から、岡山大学での産学官連携活動の状況と日本における「知的資源」の重要性についてわかりやすく説明していただきました。産学官連携の二つの成功事例のお話について、一つは企業ニーズに岡山大学が応えた「新規緑化ブロック製品」の話であり、二つ目は地元金融機関の仲立ちで共同開発がスタートし成功した「足袋型靴（商品名バルタン）」の話でありました。また大学からの特許出願の状況についても話があり、昔と異なり先生方も積極的に出願に力を入れられるようになってきたそうです。日本の競争力ランキングは2003年度は世界11位で先進国の中では低いレベルです。このような中、岡山大学は共同研究・受託研究費の合計が年間10億円を超え、又平成18年度の特許出願件数も全国15位と上位にランクされるまでになりました。世界に通じる岡山大学の研究実力を活かし上手な産学官連携とORICの創業支援体制とのコラボで多数の「岡山発オンリーワン技術創業」を目指したいものです。



### ●ORICセミナー

#### 「赤磐市の産業振興策について（IMの経験を踏まえて）」

#### 赤磐市長 井上 稔朗（としお）氏

本年4月に岡山県赤磐市の市長に選出された井上氏は、平成16年から1年間、当ORICにインキュベーションマネージャーとして勤務されていた経緯があり、IMとしての経験を踏まえた赤磐市の産業振興についてお話していただきました。井上氏は旧赤磐郡吉井町出身で、銀行勤務の後IMとなり、その後、赤磐市議会議員、同議長を経て市長となりました。

赤磐市は、田舎の良さを残しているものの、東京などの外の空気を吸った者にとっては、人間関係の困難さ、活動の不自由さを感じていたとのことです。その赤磐市は、人口4万5千人あまり、大きな2つの団地が市の人口の50%を占める岡山市のベッドタウンであり、その周辺部は典型的な過疎、高齢化の地帯で、モモ、ブドウなど農業中心の町です。市の大部分の地域は市街化調整区域であり、開発は困難です。そのため、元気な地域づくりの試みとして福祉、教育、障害者対策などを整備し、まず人を増やす施策を取っているとのこと。また、大学の知恵を借りて新しい農産物加工品の開発を進めたり、教育での「落ちこぼれ」対策として、正規の授業以外にも授業に参加する機会を設け、塾が一つもない赤磐市として、学校の中での教育機会の提供に努めたりしているとのことです。

井上市長の活動は、困難な状況にも新たな視点で立ち向かう創業者に通ずるものがあります。新赤磐市長の挑戦は続きます。



### ●入居企業紹介

#### 「当社の中央監視システムについて」 (株) シスコ・コミュニケーションズ

同社が開発した水道事業向け中央監視システムについて説明がありました。このシステムは、水道事業者からの給水量に対し、経路の途中のポイントに設置されたメーターのセンサーを用いて水位や流量を自動測定して、漏水等の存在を検知するものです。

本システムを設置した自治体では、漏水対策の結果、年間27億円も回収金額を増加させたところもあるとのこと。このシステムは、専用線や大がかりな制御盤を有した従来システムに対し、小電力の無線やパソコンの利用で、非常に簡潔な構成となっていることが特徴であり、低コストで導入できるところが魅力です。



### ●ゲスト機関紹介

#### 「社団法人システムエンジニアリング岡山の取組み」

##### 社団法人システムエンジニアリング岡山

社団法人システムエンジニアリング岡山（SEO）の活動について、専務理事の雨坪氏にご説明いただきました。現在SEOが進めている「おかやま地域イノベーションパートナーシップ事業」は、ITベンダー間の連携強化の目的で実施しています。また、ITユーザーにITの有効性を知ってもらう目的で実施している「IT経営力大賞」は、本年が2回目となります。第1回となる昨年は、21件の応募の中から大賞が選定されました。さらに本年は、この賞の宣伝も兼ねてIT経営力大賞受賞者による講演会を開催しました。その他、技術研修として、今注目のプログラミング言語である「Ruby」を取り上げたり、ITマーケティングリーダー研修も実施しました。また、新たな取り組みとして「オープンソース研究会」を発足させ、今後のITの大きな流れとなる可能性が高いオープンソースへの取組を始めています。IT活用の推進機関としてのSEOをご活用下さい。



### ●ORICセミナー

#### 「特許権の効力と範囲について（特許の射程距離）」 笠原特許商標事務所

講師の笠原英俊弁理士はORICの顧問弁理士です。特許権者が特許で何が主張できるのかどこまで主張できるのかという特許の効力の及ぶ範囲を「射程距離」と表現し説明がありました。発明の種類（カテゴリー）によって、権利の効力の及ぶ範囲が異なるので範囲が広く強い効力が期待できる「物の発明」で特許出願するのが特許戦略として有効であること。特許発明の技術的範囲は、願書に添付した特許請求の範囲の記載に基づいて決定すると言う「特許請求の範囲基準の原則」があり、請求項の文言を全て充足するか否かで決まる。一部でも充足しない部分があれば、特許発明の範囲に属しないと判断されるので、発明を特定する事項（発明特定事項）が少ない方が権利の範囲が広がるので出願時には注意すること、と言った説明がありました。詳細な判断基準や判例の解説もあり、出席者からの質問には知財経営の見地を含めて具体的な対応策の説明があったため、盛り上がったセミナーとなりました。



## ■ 第20回IT研究会 「オープンプラットフォーム'Android'とそのビジネス展開」

平成21年9月2日(水)に、岡山大学非常勤講師で日本 Android の会幹事でもある花田善仁氏より、標記タイトルでご講演いただきました。Android の歴史から、技術、ビジネス展開の3部構成で、解り易く説明いただきました。技術面の特徴は、オープンソースのため様々な拡張が可能で、開発環境の構築も容易で保有している Java や Linux の資産が活かせ、コストメリットが高い。ビジネス分野では、iPhone に比べ事前審査はなくスピーディー、複数の API を組み合わせ (マッシュアップ) 新しいサービスを構築できる。人気のアプリはゲーム関係だが、ネットワーク、センサー、GPS、カメラなどを連携し海外展開を視野に入れた新サービスが考えられるが、現在日本からは無料アプリしか登録できない。組み込み端末までカバーするので裾野が広く、今後伸びていく市場と期待される。尚、「オープンラボ岡山」というオープンソースの勉強会を月1回開催されており、興味のある方は参加されたいかががでしょうか? 詳しくはホームページ (<http://openlab.okayama/>) を参照して下さい。



## 入居企業の活動・トピックス

### ■ 第5回しんきん合同ビジネス交流会

平成21年9月9日(水)にコンベックス岡山の大・中・小展示場で県内全域から幅広い業種が参加したビジネス交流・商談会が開催されました。

参加企業は、県内信用金庫、(財)岡山県産業振興財団、(株)日本政策金融公庫岡山支店等の取引先が中心ですが、過去最大の447の企業・団体が出展し、約3千人の来場があった活気のあるビジネス交流会となりました。ORICからは6社が参加しました。

商談会では事前に予約していたものだけで約650件の商談がありましたが、同交流会実行委員会では「各信金が商談の進捗状況をフォローし、成約率を高めていきたい」と考えているそうです。

同時に開催されたビジネスコンテストでは、最優秀賞に春にORICを卒業した(株)アイ・エス・ティ、優秀賞に(有)クラフトと(株)ユニバーサルテクノロジーズの2社が選ばれ、ORIC関係企業が賞を独占する結果となりました。



(株)ユニバーサルテクノロジーズの展示ブース



ビジネスプランコンテストで表彰式される  
(有)クラフトの田口社長

# ノマディックバイオサイエンス株式会社

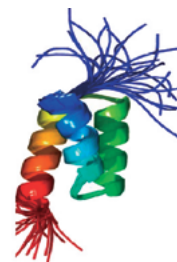
代表者 代表取締役 佐藤 聡

連絡先 〒701-1221 岡山市北区芳賀5303 ORIC 303号室

TEL 086-286-9507 FAX 086-286-9508

URL <http://www.nomadicbio.com/>

E-mail [info@nomadicbio.com](mailto:info@nomadicbio.com)



ノマディックバイオサイエンス社は、ケンブリッジ大学 タンパク質工学研究所の研究者であった佐藤社長が、帰国して2006年に設立した新設企業です。同社は、タンパク質工学の技術を活用して、産業に利用できる可能性のある新しいタンパク質を開発、販売することを企画しています。

タンパク質は、私たちの体の中で、化学反応の触媒や信号の伝達など、生きていくうえで大事な働きをしています。そのなかには、人為的に行うことが難しいことでも、タンパク質だと簡単にできてしまうことがたくさんあります。

そうしたすぐれた特性を持つタンパク質を、体内だけでなく「工場」という人工的な環境の中でも使えるようにすれば、これまでにない新しい可能性を広げることができると、佐藤社長は考えています。

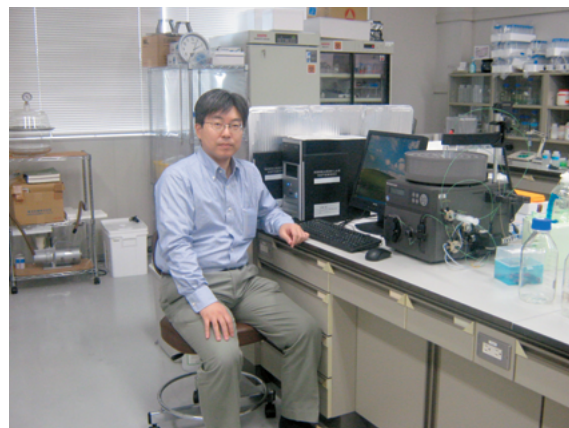
同社は、タンパク質を構成するアミノ酸の配列に変化を加えることで、天然型のタンパク質の限界を乗り越えた新しいタンパク質を開発しています。その一つが、「中性使用型改質プロテインA」です。

今話題の抗体医薬品を製造する過程で、必ず使われるタンパク質として「プロテインA」という物質があります。医薬品となる抗体を精製するときに使う物質ですが、強い酸性で使う必要があります。

しかし、その強い酸性のために、肝心の抗体が損傷を受けて、凝集体という塊をつくってしまうという欠点がありました。凝集体は、副作用の危険性が指摘されています。

同社は、「プロテインA」のアミノ酸配列をわずかに変更して、酸性でなくても使用できる「中性使用型改質プロテインA」を開発して、現在、大学の研究者などに、試験販売中です。この新しいタンパク質で精製すれば、抗体医薬品を、今よりも安全に、安く製造できる可能性が高まります。すでに、医薬品製造に関わろうとする大手企業数社から、提携の話題が出ています。

佐藤社長は、タンパク質の新しい可能性を求めて、事業展開を進めています。



■ **リサーチパーク研究展示発表会 出展者募集のご案内** (申込締切:10月30日(金))

岡山県内の大学および岡山リサーチパークに関係する企業・機関の研究成果を発表する場であり、その成果を県内に広めるための交流の場でもあります。

発表会の開催:平成22年2月5日(金) 10:00~18:30

発表会の会場:テクノサポート岡山(岡山市北区芳賀5301)

募集テーマ:①精密加工・機械・材料 ②情報通信・エレクトロニクス ③健康・医用・福祉  
④バイオ・食品 ⑤環境・化学 ⑥デザイン・MOT・知的財産

10月30日(金)までに電子メールにより下記までご一報ください。

【申込先】(財)岡山県産業振興財団 技術支援部 TEL:086-286-9651(担当:宮内) E-mail:sgkinfo@optic.or.jp

■ **岡山大学「知恵の見本市」** (開催:11月6日(金))

岡山大学創立50周年記念館にて 参加無料

テーマ:「環境」と「先端医療」

特別講演 NEDO 弓取室長

仮題「リチウムイオン二次電池技術の課題と将来」

特別講演 三菱自動車工業株式会社 吉田 裕明 氏

仮題「電気自動車の課題と将来」

■ **岡山理科大学「OUSフォーラム2009」** (開催:11月20日(金))

岡山プラザホテルにて 参加無料

特別記念講演 「環境問題と企業」

元シャープ(株) 代表取締役専務 御手洗 顕 氏

特別記念講演 「岡山理科大学建築学科の産学連携事項について」

岡山理科大学 総合情報学部 建築学科 瀬川 輝夫 教授

同時開催 OUS技術セミナー2009 「基礎から応用・未来技術への出会いと対話」

# 入居者募集中!!

センターでは随時入居のご相談に応じています。お気軽にお問合せください。

■ **施設使用料・空き室状況**

(2009年10月現在)

施設区分	面積	使用料の月額	部屋数	空き室数
研究室小	約 25 m <sup>2</sup>	45,000 円	22	12
研究室大	約 50 m <sup>2</sup>	88,000 円	30	7
試作開発室	約 100 m <sup>2</sup>	175,000 円	6	3
創業準備室	5 m <sup>2</sup> / ブース	5,000 円	6 ブース	4 ブース



研究室大



研究室小

創業5年未満の会社は、入居後3年間は1/2に減免する制度があります。

■ **次回募集**

原則として3ヶ月ごとに入居審査会を開催しています。

次回は11月末までに事業計画書を提出された方を対象に、12月中に開催の予定です。

(※創業準備室の募集は随時受付けています。)

詳しくはホームページをご覧ください。 <http://www.oric.ne.jp>